

ミクロン株の感染拡大など予断を許さない状況が続く新型コロナウイルス感染症の感染防止と経済活性化の両立を最優先課題としながら、『日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る防災・減災対策』『カーボンニュートラルの実現に向けた環境政策』『厚岸霧多布昆布森国定公園の誕生に伴う観光振興』の3点を重点施策として推進するとともに、臨機応変に、かつ時機を逸することなく対応すべき諸課題にも果敢に取り組み、『みんなのあつけし』新時代の創造に向かって』全力を尽くしてまいります。

また、昨年11月に本格着工した北海道横断自動車道根室線『尾幌糸魚沢道路』の早期完成と、新たな事業

区間となる『別保・尾幌間』の計画段階評価の早期着手に向けて国へ強く要請してまいります。

さらに、令和5年度に天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、厚岸町を舞台に開催される第42回『全国豊かな海づくり大会』北海道大会に向けて、北海道や厚岸漁業協同組合などと連携しながら、本年秋頃に予定されているプレ大会や関連イベントの開催など、本大会開催に向けての機運醸成をしっかりと図ってまいります。

このほか、喫緊に対応が必要な赤潮被害への対策についても、必要な制度の創設等を国や北海道に強く要請してまいります。

主要な施策の推進

令和4年度において、私が取り組む主要な施策の推進について、第6期厚岸町総合計画の5つの将来像に沿って申し上げます。

自然と調和し、だれもが安全・安心で快適に暮らせるまち

環境保全については、『第2期厚岸町豊かな環境を守り育てる基本計画』に基づき、町民、事業者との協働による厚岸町グリーン作戦などの取り組みを引き続き実施してまいります。

また、先に申し述べた第42回『全国豊かな海づくり大会』北海道大会



のテーマの一つとされ、世界的な問題となっている海洋プラスチックごみ対策について、厚岸漁業協同組合と連携し、海岸漂着ごみや漁業者が操業中に回収した漂流・海底ごみの適正な処理を進めてまいります。

地球温暖化対策を強化するため、厚岸町では昨年3月に二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティを表明したところであり、脱炭素社会実現に向けて、再生可能エネルギー資源量や将来のエネルギー消費量などを踏まえた『厚岸町再生可能エネルギー導入目標計画』を策定するとともに、具体的施策の検討を進めてまいります。

また、役場庁舎において、民間資金の活用によるカーポート型太陽光発電設備の設置と、それに伴う電力

の購入を行ってまいります。

水道事業については、健全経営を維持し、将来にわたって安全で安心な水を安定的かつ持続的に供給するため、本年4月から新たな水道料金に改定するとともに、大別地区における地下水資源調査を引き続き実施いたします。

簡易水道事業については、上尾幌地区において老朽化した水道管の更新整備を進めるとともに、太田・片無去地区における営農用水の安定供給を図るため、道営事業と合わせて実施する水道施設更新整備の基本設計と実施設計を行います。

下水道事業については、想定最大規模の降雨による被害を想定し、内水浸水想定区域図を作成するとともに、白浜4丁目地区の污水管整備と終末処理場などの施設整備を引き続き実施するほか、令和6年度からの地方公営企業法の全部適用に向けた移行事務を進めてまいります。

高速道路については、『尾幌糸魚沢道路』の早期完成と『別保・尾幌間』の計画段階評価の早期着手に向け、引き続き関係市町村や関係団体と連携し、事業予算確保に向けた要請活動を行ってまいります。

町道については、太田門静間道路、床潭末広間道路、太田地区防雪柵、トライベツ道路路面、実験所道路路面の整備、住の江町通り歩道の改修、